

和泉市・和泉商工会議所・地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所  
包括連携協定調印式 古寺理事長挨拶

実施日：平成25年5月22日（水）

只今ご紹介にあずかりました。産業技術総合研究所の古寺でございます。  
今日は、和泉市、和泉商工会議所、そして我々産技研と包括連携協定を締結いたしますことを、非常に嬉しく思っております。

昨年4月1日付けで地方独立行政法人として新しく出発したわけですが、元々平成8年に大阪市内の江之子島からこの地へ移ってきました。和泉市内の中小企業の方々とのビジネス交流は、ずっと続けて来たわけですが、とりわけこのテクノステージ和泉のトリヴェール西地区の企業の方々とのビジネス交流は、重視してまいりました。

一方、和泉市内の小中学生に向けて、ふれあい事業を行っております。加えて、府民開放として一般府民の方に施設を開放して見て頂く事業を実施しております。これらの和泉市の「地の利」を生かした取組は、他の公設試でなかなかできない取組であると自負しております。

この度、この包括連携を機に、益々、和泉市の企業、そのモノづくりを活性化するために、なお一層の取組を進めてまいりたいと思っております。

昨年7月5日に独法化イベントを実施しましたが、その際、「ソリューション型の技術支援」と産学官連携を主体とした「オープンイノベーション」の体制を構築することを言いました。それを形にするため、少しずつですが、大阪府立大学との包括連携事業を始め、東大阪市や堺市などの自治体との連携強化も行って、大阪産業の活性化を進めてまいりました。この包括連携協定は「攻めの経営」を実施する手段として、中小企業のものづくり産業の製品開発を、体系的かつ組織的にサポートするということが最大の特徴であると思っております。

従いまして、今日この協定調印を終えた事を契機に、益々和泉市の産業の発展に貢献したいと思っております。

今日は、本当におめでとうございました。